Healthy Lecipe

辛くない チリコンカン

【材料】2 人分

とり挽き肉	80 g
大豆の水煮	80 g
玉ねぎ	30 g (小 1/4 個)
トマト缶	100 g (1/4 缶)
にんにくチューブ	2cm
A	
トマトケチャップ	9 g (大さじ 1/2)
ウスターソース	9 g (大さじ 1/2)
★	
コンソメ顆粒	1.6 g (小さじ 1/2)
水	80ml
サラダ油	7 g (大さじ 1/2)

【栄養量】1 人分

エネルギー	217kcal
タンパク質	13.0g
脂質	10.9g
炭水化物	9.5g
塩分	1.0g

（写真のトルティーヤチップスとレタスは栄養量に含みません）

9 月に入り、夏の疲労が続いて秋バテになっていませんか？疲労回復の効果が期待できるトマトを使ったレシピをご紹介します。チリコンカンはアメリカのテキサス州で考案されたといわれる、豆とひき肉の煮込みです。本来はチリの辛みがきいたスパイシーな料理ですが、トマトケチャップの甘みをきかせると幅広い年齢層で食べやすい味付けになります。

管理栄養士　吉井しほ

【作り方】

1. 玉ねぎはみじん切りに、大豆は水を切っておく。
2. コンソメはお湯 80ml（★）に溶かしておく。
3. フライパンにサラダ油とにんにくチューブを入れて火にかけ、香りが立ったら玉ねぎを炒める。
4. 玉ねぎの色が透明になったら、挽き肉※ を加えてほぐしながら炒める。
5. 肉に火が通ったら、2 と大豆、調味料（A）※ を入れ、水気がなくなるまで煮込む。

※ 挽き肉、調味料（A）はミートソース缶を使用すると、より短時間で調理ができます。

インフォメーション

「ふきあい南北バス」試験運行実施中！

9 月 1 日～ 11 月 30 日の期間、ふきあい南北バスの試験運行を実施しております。熊内ルート、神仙寺ルートの２系統で試験運行を実施しております。

神戸市のサイトにリンクします

熊内ルート

中尾町 → 熊内町8丁目上 → 熊内町8丁目下 → 熊内町5丁目 → 旗塚通2丁目 → 旗塚通3丁目 → 国春通3丁目 → 阪急春日野道駅西 → 東雲通2丁目 → 阪急春日野道駅 → 万代春日野道店 → 神鋼記念病院 → 神鋼記念病院北 → JR灘駅前

神仙寺ルート

神戸労災病院北 → 上春日野公園 → 神仙寺通2丁目 → 神戸平成病院 → 大日商店街 → 万代春日野道店 → 神鋼記念病院 → 神鋼記念病院北 → JR灘駅前

Medical News

2021 年 9 月
Vol.170

Shinko Hospital

Contents

■特集　当院での泌尿器科ロボット支援下手術 da Vinci Surgical System
■ヘルシーレシピ
■インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47
TEL:078-261-6711（代表）
FAX:078-261-6726
URL:https://shinkohp.jp
発行責任者：理事長　山本　正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長　松本　元

講演会などの詳しい情報はこちらから！！

神鋼記念病院　検索

https://shinkohp.jp

神鋼記念病院
Medical News
2021
9

当院での泌尿器科ロボット支援下手術 — da Vinci Surgical System

泌尿器科 部長
山下 真寿男
Masuo Yamashita

弘前大学　昭和59年卒業
- 日本泌尿器科学会認定専門医･指導医
- 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医
- 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医
- 日本泌尿器内視鏡学会代議員
- 医学博士
- 神戸大学医学部臨床教授

はじめに

2012 年 4 月に日本ではじめて保険適応となったロボット支援手術が前立腺全摘除術です。それ以後、泌尿器科では腎部分切除術、膀胱全摘除術、腎盂形成術などが保険適応となり、外科では大腸がんや胃がん、肺がん、婦人科では子宮がんの手術なども保険適応となり、広く行われるようになっています。ただ手術装置が高額であることや、手術を行うにはさまざまな制約があり、どこの病院でもすべてのロボット支援手術が行えるわけではありません。各科で基準が違いますが、泌尿器科ではロボット手術を行える資格のある医師が常勤していることや、その手術を始める前に同じ手術の開放手術（従来の皮膚を切開して行う手術）の症例数が基準以上であることなどが決まりとなっています。当院泌尿器科では、今のところ前立腺がんと腎臓がんのロボット支援手術を行っています。他の手術に関しては、今後の導入を検討している状況です。

ロボット支援手術の目的

ロボット支援手術は以下の３項目を目的に開発されました。

1 低侵襲性
小さい傷や少ない出血量といった体の負担が少ないこと

2 高制がん性
がんの部分を取り残すことなく摘除すること

3 機能温存
たとえば前立腺では尿禁制および性機能を維持すること

すべての目的を完璧に果たすことはできていません。この手術が始まってから常に上記目的達成のための様々な工夫がなされ、手術方法や手術道具の開発進歩が進んでいます。

当院のロボット支援手術

当院では、2015 年 11 月より前立腺がんに対する『ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術』を導入し、2021 年 8 月までに 270 例を行っています。2017 年 12 月からは、腎がんに対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術を導入し、2021 年 8 月までに 44 例を行っています。現在のところ両手術合わせて年間 55 例程度の症例数となっており、毎週 1 例はロボット支援手術を行っていることになります。（これは泌尿器科の手術のみ。当院では外科もロボット支援手術を行っていますので、毎週の当院ロボット手術の症例数はもう少し多いことになります）8 月以降は増加傾向にあるため、年間症例数は 55 例以上になる見込みです。できる限り手術をお持ちいただく期間を短くして行えるようにしていますが、その時の混み具合で少し手術までの期間が長くなることもあります。

しかしながら、上記疾患のすべての患者さんにロボット支援手術ができるわけではありません。

前立腺がんに対するロボット支援手術

手術の対象となるのは転移の無い限局性前立腺癌です。CT・骨シンチなどの画像診断で転移の無い患者さんが適応です。転移があると手術では治らないので通常は薬物療法が適応となります。また低侵襲手術とはいえ全身麻酔下で 3 時間程度以上かかるやや大きい手術です。そのため心臓疾患などで長時間の手術に耐える体力のない場合は手術を行うことができません。また年齢に関して、以前は 75 歳以下としていましたが、現在は 80 歳未満を可能としています。その他、放射線治療という選択肢もありますので、治療後の合併症なども含めて十分に考えて頂き、その結果希望される場合に手術となります。医師が手術を勧めても、患者さんが手術を希望されない場合は、手術を行いません。手術でも放射線治療でも状況によって、同じくらいの治療成績であることはありますが、その後の経過・合併症の種類、可能性が異なるため、その都度医師と相談の上、治療法を決めています。

腎がんに対するロボット支援手術

今のところ、腎がんと診断される腎腫瘍に対しての部分切除が保険適応となっています。悪性ではなく良性と考えられている腎腫瘍に対してはロボット支援手術は行ってはならないことになっています。また腎臓をとってしまう腎摘除術も保険適応となっていません。（近々適応となる可能性はあります）つまり腎臓の腫瘍の部分を切除する腎部分切除術のみがロボット支援手術の適応となります。腫瘍（がん）が大きく部分切除が困難な場合や、腫瘍の場所の関係で腎臓の機能がほとんど残らないことが予測される場合、また残すことが手技的に危険な場合には、腎臓をすべて取ってしまう腎摘除術の適応となったり、手術自体が不可能なこともあります。また、手術途中で部分切除術が困難で腎摘除術に変更になった場合でも、ロボット支援手術は不可能になりますので、腹腔鏡手術や開手術に変更して行うことになります。

おわりに

以上のように様々な条件を満たし、ロボット支援手術を行える方には、安全で低侵襲な手術を提供できると考えております。適切な術前検査と説明を受けたうえで判断してください。当院での治療を希望され、上記手術を行う場合にはもちろん適切に対処させていただきます。神鋼記念病院泌尿器科を今後ともよろしくお願いいたします。

低侵襲手術支援ロボット
da Vinci Surgical System

サージョンコンソール

ペイシェントカート